



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 日本化薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 茂之
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部長 (氏名) 川村 勉 (TEL) 03-6731-5842
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	54,758	2.1	4,367	△21.6	4,067	△44.1	4,292	20.3
2025年3月期第1四半期	53,645	10.4	5,570	138.6	7,278	74.2	3,566	34.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 5,111百万円(△45.5%) 2025年3月期第1四半期 9,374百万円(△26.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	27.29	27.29
2025年3月期第1四半期	21.52	21.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	375,501	261,998	69.5
2025年3月期	373,708	268,520	71.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 261,066百万円 2025年3月期 267,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.50	—	37.50	60.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	111,700	2.4	9,600	△14.0	9,600	△17.7	10,000	67.4	63.99
通期	234,600	5.4	20,000	△2.0	19,700	△11.5	17,400	△0.6	113.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	160,000,000株	2025年3月期	165,003,570株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,387,416株	2025年3月期	5,117,318株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	157,280,496株	2025年3月期1Q	165,728,245株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2025年7月31日(木)に証券アナリスト及び機関投資家向けにテレフォンカンファレンスを開催する予定であります。使用する資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年6月30日まで)の世界経済は底堅い成長を維持しているものの、ロシアのウクライナ侵攻などの地政学リスクや米国新政権の関税の引き上げによる不透明感が続いています。

このような状況の中、当社グループは2022年度より開始した中期事業計画“**KAYAKU Vision 2025**”が最終年度に入り、引き続き事業ごとに定めた「ありたい姿=Vision」に向けたロードマップを実行するとともに、ありたい姿実現に向けて定めた全社重要課題に対し取り組みを進めています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高はモビリティ&イメージング事業領域が前年同四半期を下回ったものの、ファインケミカルズ事業領域及びライフサイエンス事業領域が前年同四半期を上回ったことにより、547億5千8百万円となり、前年同四半期に比べ11億1千2百万円(2.1%)増加しました。

営業利益はファインケミカルズ事業領域及びライフサイエンス事業領域が前年同四半期を上回ったものの、モビリティ&イメージング事業領域が前年同四半期を下回ったことにより43億6千7百万円となり、前年同四半期に比べ12億2百万円(21.6%)減少しました。

経常利益は為替差損等により、40億6千7百万円となり、前年同四半期に比べ32億1千万円(44.1%)減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益等により、42億9千2百万円となり、前年同四半期に比べ7億2千5百万円(20.3%)増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【モビリティ&イメージング事業領域】

売上高は223億8千7百万円となり、前年同四半期に比べ4億9千2百万円(2.2%)減少しました。

セイフティシステムズ事業は、国内は自動車の型式認証不正問題による生産・出荷停止の影響が解消し、エアバッグ用インフレータ及びシートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは前年同四半期を上回りました。海外はエアバッグ用インフレータ及びスクイブが前期に引き続き中国市場向けが順調に推移し、前年同四半期を上回りましたが、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータが北米市場向けの低調を受け、前年同四半期を下回りました。この結果、セイフティシステムズ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

ポラテクノ事業は、ヘッドアップディスプレイ用遮光板が伸長したものの、液晶プロジェクター用部材が前年同四半期を下回りました。X線分析装置用部材は主要顧客の在庫調整を受け、前年同四半期を下回りました。この結果、ポラテクノ事業全体としては前年同四半期を下回りました。

セグメント利益はポラテクノ事業の売上高減少に加え、セイフティシステムズ事業の為替変動を含めた原材料高騰を受け、23億5千7百万円となり、前年同四半期に比べ13億5千4百万円(36.5%)減少しました。

【ファインケミカルズ事業領域】

売上高は167億1千万円となり、前年同四半期に比べ5億3千1百万円(3.3%)増加しました。

機能性材料事業は、AI・ハイエンドサーバをはじめとした半導体市況の拡大により、各製品群が堅調に推移したことにより、機能性材料事業全体で前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、産業用インクジェットインク、コンシューマインクジェットプリンタ用色素および感熱顕色剤が堅調に推移したことにより、色素材料事業全体で前年同四半期を上回りました。

触媒事業は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は機能性材料事業及び色素材料事業の売上高が増加したことにより、24億9千6百万円となり、前年同四半期に比べ9千7百万円(4.0%)増加しました。

【ライフサイエンス事業領域】

売上高は156億5千9百万円となり、前年同四半期に比べ10億7千3百万円(7.4%)増加しました。

医薬事業の国内向け製剤は、抗悪性腫瘍剤ヒト型抗EGFRモノクローナル抗体「ポートルーザ[®]点滴静注液」、バイオシミラー「ベバシズマブBS」、「アダリムマブBS」の市場浸透が進み、前年同四半期を上回りました。

一方で、輸出は前年同四半期を下回ったものの、国内向け原薬、診断薬は前年同四半期を上回り、医薬事業全体としては前年同四半期を上回りました。

アグロ事業の国内向け販売は、前年同四半期を下回ったものの、輸出が前年同四半期を上回り、アグロ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

不動産事業は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は医薬事業及びアグロ事業の売上高が増加したことにより、18億6千3百万円となり、前年同四半期に比べ2億3千1百万円(14.2%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は3,755億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億9千2百万円増加しました。主な増加は、機械装置及び運搬具35億8千6百万円、商品及び製品33億8千1百万円、現金及び預金24億6千9百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金29億5千4百万円、投資有価証券29億5千2百万円であります。

負債は1,135億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億1千4百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金65億4千1百万円、短期借入金60億円であり、主な減少は、未払金25億9千1百万円でありませ

ず。純資産は2,619億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億2千1百万円減少しました。主な減少は利益剰余金81億4千9百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、地政学的リスクや為替変動リスクに加え、関税リスクによる景気の下振れリスクがあり、慎重な見方が必要であると考えております。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応し、株主価値を高める経営資本の最適化を進め、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、当連結会計年度の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,425	57,895
受取手形及び売掛金	63,112	60,158
電子記録債権	1,529	1,559
有価証券	4,337	2,469
商品及び製品	44,917	48,299
仕掛品	1,397	1,297
原材料及び貯蔵品	25,227	26,967
その他	11,075	10,982
貸倒引当金	△229	△137
流動資産合計	206,794	209,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,231	50,174
機械装置及び運搬具（純額）	26,252	29,839
その他（純額）	34,834	31,155
有形固定資産合計	109,317	111,168
無形固定資産		
のれん	640	603
その他	3,411	3,270
無形固定資産合計	4,051	3,873
投資その他の資産		
投資有価証券	35,393	32,441
退職給付に係る資産	11,032	11,176
その他	7,168	7,398
貸倒引当金	△49	△49
投資その他の資産合計	53,544	50,967
固定資産合計	166,914	166,010
資産合計	373,708	375,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,869	26,411
短期借入金	7,212	13,212
未払金	18,797	16,206
未払法人税等	1,492	1,130
その他	8,234	7,834
流動負債合計	55,606	64,795
固定負債		
社債	14,000	14,000
長期借入金	20,884	19,881
退職給付に係る負債	434	323
その他	14,263	14,503
固定負債合計	49,581	48,707
負債合計	105,188	113,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	15,861	15,865
利益剰余金	202,714	194,565
自己株式	△6,527	△5,661
株主資本合計	226,981	219,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,374	11,489
為替換算調整勘定	23,422	24,997
退職給付に係る調整累計額	4,749	4,877
その他の包括利益累計額合計	40,546	41,363
非支配株主持分	992	931
純資産合計	268,520	261,998
負債純資産合計	373,708	375,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	53,645	54,758
売上原価	36,428	38,191
売上総利益	17,217	16,566
販売費及び一般管理費	11,647	12,198
営業利益	5,570	4,367
営業外収益		
受取利息	231	136
受取配当金	488	463
持分法による投資利益	-	81
為替差益	1,126	-
その他	139	237
営業外収益合計	1,987	918
営業外費用		
支払利息	90	142
持分法による投資損失	62	-
為替差損	-	929
その他	124	147
営業外費用合計	278	1,218
経常利益	7,278	4,067
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	-	2,131
特別利益合計	0	2,133
特別損失		
固定資産処分損	193	188
投資有価証券評価損	1,426	-
特別損失合計	1,619	188
税金等調整前四半期純利益	5,659	6,013
法人税、住民税及び事業税	1,192	996
法人税等調整額	884	699
法人税等合計	2,076	1,696
四半期純利益	3,582	4,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,566	4,292

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,582	4,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	533	△885
為替換算調整勘定	5,275	1,552
退職給付に係る調整額	△18	127
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	5,791	795
四半期包括利益	9,374	5,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,298	5,110
非支配株主に係る四半期包括利益	76	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

① 自己株式の取得

当社は、2024年11月11日および2025年3月28日の取締役会決議に基づき、当第1四半期累計期間において自己株式4,273,500株を5,579百万円で取得しました。

② 自己株式の消却

当社は、2025年5月13日の取締役会決議に基づき、2025年5月23日付で自己株式5,003,570株の消却を行いました。これにより、その他利益剰余金6,446百万円、自己株式が6,446百万円減少しております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の利益剰余金が194,565百万円、自己株式が5,661百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	モビリティ& イメージング 事業領域	ファインケミ カルズ事業領 域	ライフサイエ ンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,880	16,179	14,585	53,645	—	53,645
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	38	0	38	△38	—
計	22,880	16,217	14,585	53,683	△38	53,645
セグメント利益	3,711	2,399	1,631	7,742	△2,172	5,570

(注)1 セグメント利益の調整額△2,172百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,155百万円及びセグメント間取引消去△16百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	モビリティ& イメージング 事業領域	ファインケミ カルズ事業領 域	ライフサイエ ンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,387	16,710	15,659	54,758	—	54,758
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	51	0	55	△55	—
計	22,391	16,762	15,659	54,813	△55	54,758
セグメント利益	2,357	2,496	1,863	6,717	△2,349	4,367

(注)1 セグメント利益の調整額△2,349百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費△2,318百万円及びセグメント間取引消去△30百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
減価償却費	3,318	3,568
のれんの償却額	35	35